

兵庫 県
保険医協会

西宮 支部
芦屋 ニュース

No. 372
2024・9・15

発行

連絡先

〒662-0832

兵庫県保険医協会 西宮・芦屋支部

兵庫県西宮市甲風園一―一五 法貴皮膚科内

兵庫県保険医協会 電話〇七八(三九三)一八〇一

リスクマネジメント研究会

mRNA脂質ナノ粒子製剤「ワクチン」接種後の健康被害の実態とME/CFSに対するビタミンD補充療養指導について

「リスクと利益」科学的な検証が必要

西宮・芦屋支部は、8月17日、協会会議室でリスクマネジメント研究会「mRNA脂質ナノ粒子製剤『ワクチン』接種後の健康被害の実態とME/CFSに対するビタミンD補充療養指導について」を開催。福島雅典先生(京都大学名誉教授、LHS研究所代表理事)を講師に、130人が参加した(来場33人/ZOOM視聴97人)。司会を務めた半田伸夫先生の感想を紹介する。

8月17日お盆明けの猛暑の土曜日に、上記研究会に参加した。昨年に引き続き福島雅典先生をお招きして、今回はCOVID-19のmRNA脂質ナノ粒子製剤「ワクチン」接種後の健康被害についてお話を伺った。先生は、がん医療の専門家で、日本で初めて薬剤疫学講座を開いた方だ。薬剤には常にリスクとベネフィットがあり、ともすればベネフィットばかり強調される傾向にあるが、リスクを正確に評価しておかないといけないと啓蒙されてきた。今回COVID-19予防に対して、従来使用されたことのないmRNA脂質ナノ粒子製剤「ワクチン」が使用された。その適応は、コロナパンデミックの緊急事態下で正式なGCP過程を経ることなく日本国民の約8割に接種された。その結果何が起こったのかを科学として検証する必要がある。

「科学者は事実を事実として認める必要がある。そこにはこうあるべきだとの思い込みを入れてはいけない」ことを強調された。2122件の死亡報告、8750件の重篤者、3万6556件の副作用が厚生労働省に23年7月30日までに報告されている。この数はいままですべてのワクチン副作用報告をはるかに上回る。しかもこの数は氷山の一角にしか過ぎない。



参加者は熱心に耳を傾け質問も相次いだ



福島先生がmRNAワクチンが原因とされる有害事象を解説

この「ワクチン」は体のあらゆる組織に入り込み、異常な免疫応答をおこす可能性がある。取り込まれた細胞はスパイク蛋白を発現する。高知大学の佐野栄紀教授は、「ワクチン」接種後長期に皮膚細胞にスパイク蛋白発現のあることを報告した。死亡例はこれらに対する生体の過剰な免疫応答の可能性があり、心筋融解や、ヤコブ病など重篤な副作用を引き起こすと考えられる。さらに長期にわたり発現するスパイク蛋白による「Spikeopathy」とも言える病態を引き起こし、慢性疲労症候群(ME/CFS)の原因ともなる。さらにIgG4抗体関連疾患を引き起こし、発がんにも関与するとのこと。

実際日本では20年から年齢性別調整後の超過死亡が増え、がん死亡も増えている。ME/CFSではビタミンD不足が言われていて、「ワクチン」接種後ME/CFS患者でのビタミンDの血中濃度が低いことが分かっている。ビタミンDを補充することでその症状の改善がみられることも教えていただいた。我々医師はこの出来事に真剣に向き合う必要があると再認識した。

【西宮市・半田医院 半田伸夫】

世話人会だより

西宮・芦屋支部は8月23日(金)に西宮医療会館で世話人会を開催。7人が参加した。

- 【I. 最近の診療経験の交流】
- ① 2024年度診療報酬改定について
- ② 医療DX、診療報酬改定について

【II. 予定・企画】

- ① 第44回支部総会記念市民公開講演会 (10・19)
- ② 阪神淡路大震災30年のつどい (25・1・18)

【III. 報告】

- ① 第16回被災地交流/物品・物産展 (7・27)
- ② リスクマネジメント研究会 (8・17)

【V. 協会・保団連行事】

- ① 国際部・市民公開講演会 (8・3)
- ② 国際部・韓国視察ツアー (8・11~13)
- ③ 第39回保団連医療研究フォーラム (9・22~23)
- ④ 第33回日常診療経験交流会 (10・27)

***世話人会の日程は毎月第4金曜日です。次回は9月27日(金)に予定しております。支部についての「意見や企画案などをお寄せください。」**

【参加者の感想】

・ ウイルスのスパイクタンパク質の遺伝情報を含むmRNAワクチンを注入し合成されたスパイクタンパク質についてとても参考になりました。「スパイクオパシー」など体内の臓器に及ぼす影響も考えなくてはいけないと思いました。

・ 福島先生の記事などは何回か読みましたが、本日直接講演を拝聴して感動いたしました。そして先生のような方が今の日本には本当に必要だと思いました。

・ *asitis*であるかどうか、リアルワールドであるのか、部分的でなく全体をみれているか、常に自分の思考の元としていきたい。本質を見抜き、考えられる医師、医療職種、国民が増えていくことに希望を持つかない。

・ 本当に熱い思いで講演していただきました。リアルワールドデータで納得できました。

兵庫県保険医協会 西宮・芦屋支部 第44回支部総会 **市民公開講演会**

「10の手口」に騙されないで 世界を変えるのは、あなた自身 ～水俣病と原発災害への取り組みから見える日本～

と き 10月19日(土) 14時開場 14時30分開演

と ころ 西宮市立勤労会館大ホール
西宮市松原町2-37 (JR西宮駅から約7分、阪神西宮駅から徒歩8分)

講師 アイリーン・美緒子・スミス さん
(環境ジャーナリスト、環境 NGO「グリーン・アクション」代表)



■ アイリーン・美緒子・スミスさん

1950年、東京生まれ。68年スタンフォード大学入学、70年中退、83年コロンビア大学で環境科学の修士号取得。71年、アメリカの報道写真家ユージン・スミスと来日、結婚。水俣病取材のため、水俣に3年間住む。75年写真集「MINAWATA」の英語版をユージンと出版。80年「水俣」日本語版を出版(三一書房)、22年に再出版(クレヴィス)。83年以来、福井県若狭湾の原発の安全性の問題に取り組み、現在、脱原発、日本の原子力政策、プルトニウム利用問題に取り組む市民グループ「グリーン・アクション」代表。有限会社アイリーン・アーカイブ社長。環境ジャーナリスト。京都在住。

水俣病問題と東京電力福島第一原子力発電所事故の災害の教訓から私たちは何を学べるのでしょうか。水俣病は日本の工業が起こした「最大の食中毒事件」と言われています。公式確認から68年が経つ今も、救済を求める裁判は9件が係争中です。一方、政府は法律で義務づけられている疫学調査を未だ拒み、行っていません。日本の専門家、司法、市民はいま何をしているのか。なぜ、水俣病の認定制度は半世紀も遅れた医学知識に基づいているのか。

福島原発事故の災害では、水俣病と同様、なぜ当時の子どもたちが「311子ども甲状腺がん裁判」などに先頭に立って闘わなければならないのか。まったくの地震国でありながら原発が全国に行き渡る世界唯一の国、日本ではなぜ、原発を廃止できないのか。大事故が起こった時の無数の避難元と避難先の市町の人々、医療と福祉施設、専門家たちはなぜ憂慮を示さないのか。動かない日本の謎を読み解き、様々な人々が行動を取れば、きっとできるはず。

後 援 西宮市、芦屋市、西宮市教育委員会、芦屋市教育委員会、神戸新聞社

会員の先生方は総会議事も合わせてご参加ください。

西宮・芦屋支部第44回総会

と き 10月19日(土) 14時
と ころ 西宮市立勤労会館 3階第5会議室

アイリーンさんからのメッセージ
動画はこちら
<https://youtu.be/hXvH-BGuq8w>



参加申込・お問い合わせは協会事務局 (078-393-1840) 伊地知・山田まで

英語で診療 Medical English #56(感想文)

敷居は低くも実践的で密度の濃い研究会

西宮・芦屋支部は7月19日に西宮医療会館で Medical English #59を開催した。半田伸夫先生が司会を務め、Robert Conroy先生が「視力障害」をテーマに講演し、9人が参加した。アドバイザーを務めた藤本竜太郎先生の感想を紹介する。



Conroy先生がロールプレイを交え実践的に説明

今回、眼科編のアドバイザーという立場で、第59回の Medical English #59セミナーに初参加させていただき、診察を経て白内障と診断され、手術前後の点眼指導が行われるという、眼科クリニックでの一般的な英会話をテキストに落とし込んでいます。セミナーはConroy先生とのロールプレイング形式で、事前に配布されたテキストの空白を埋めながら医師と患者との対話を実践的に学びました。

Conroy先生は親しみやすい人柄で、初参加の私でも緊張せずに楽しく学ばせていただきました。ネイティブスピーカーならではの自然な表現や、微妙なニュアンスの違いなども学ぶことができ、密度の濃い内容でした。

司会の半田先生は、Conroy先生の英語を流暢に日本語に通訳しながら、セミナー全体の進行をスムーズに行ってくださいました。半田先生の的確な通訳により、私のように英語力に乏しい参加者でもConroy先生の話される内容を十分に理解し、学習



白内障についての質問に答える藤本先生

に集中することができました。Conroy先生とのロールプレイングが終わると、私と参加者との間で、白内障手術に関する質疑応答がありました。最先端の眼内レンズのことや、患者さんには普段は言えない本音をいろいろお話しさせていただき、有意義な会であったと自負しております。

Conroy先生が話している英語が意外とわかることに我ながら驚き、嬉しくなりました。集中して疲れましたが、楽しい時間でした。会を催していただいた担当者の皆様、ありがとうございました。

【西宮市・ふじもと眼科 藤本 竜太郎】